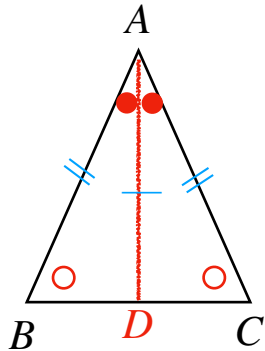


1 次の問いに答えなさい。

(1) 二等辺三角形の定義を答えなさい。

(2) 二等辺三角形の底角は等しいことを証明した。次のア～エに当てはまる記号や語句を答えなさい。



∠Aの二等分線をひき、BCとの交点をDとする。

△ABDと△ACDで、

ADは∠Aの二等分線だから、

∠BAD=

・・・①

仮定より、 $AB=$

・・・②

また、ADは共通だから、

$AD=$

・・・③

①, ②, ③から、

それぞれ等しいので、

$$\triangle ABD = \triangle ACD$$

合同な図形では、対応する角は等しいので、

$$\angle B = \angle C$$

1

(4点×5=20点)

(1)

2つの辺が等しい三角形

ア ∠CAD

イ AC

ウ AD

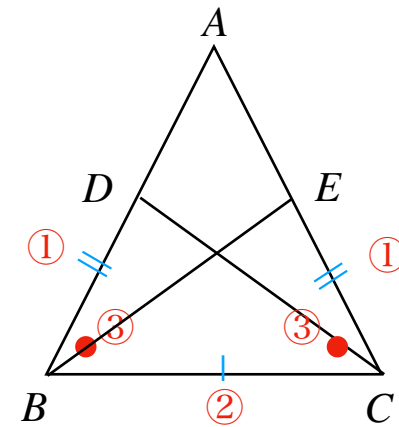
(2)

2組の辺とその間の角が、

エ

2

図のように、 $AB=AC$ である二等辺三角形で、辺AB、ACの中点をそれぞれD、Eとする。このとき、 $CD=BE$ となることを証明しなさい。



(8点)

△DBCと△ECBで、

仮定より、 $BD=CE$ ・・・①

共通な辺より、 $BC=CB$ ・・・②

△ABCは二等辺三角形なので、底角は等しいから、

$\angle DBC = \angle ECB$ ・・・③

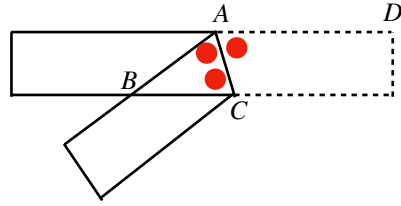
①, ②, ③から2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいので、

$$\triangle DBC = \triangle ECB$$

合同な図形では、対応する辺の長さは等しいので、

$$CD = BE$$

- 3 幅が一定のテープを図のように折り返したとき、 $\triangle ABC$ は二等辺三角形になることを証明しなさい。



(8点)

折り返したときに対応する角は等しいので、

$$\angle DAC = \angle BAC \dots \textcircled{1}$$

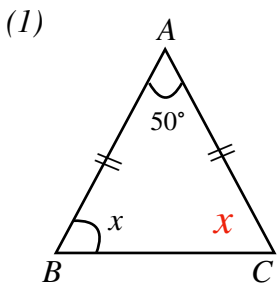
平行線の錯角より、

$$\angle DAC = \angle BCA \dots \textcircled{2}$$

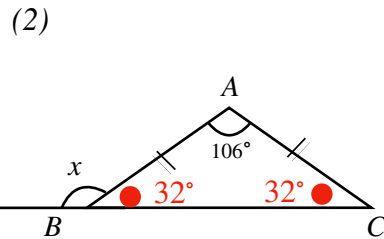
$$\textcircled{1}, \textcircled{2} \text{より}, \angle BAC = \angle BCA$$

$\triangle ABC$ は二等辺三角形である。

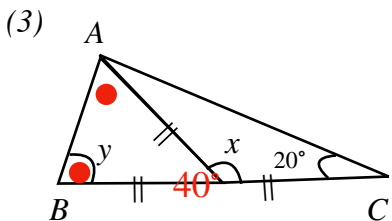
- 4 $\angle x, \angle y$ の大きさを求めなさい。



$$\begin{aligned} 180^\circ - 50^\circ &= 130^\circ \\ 2x &= 130^\circ \\ x &= 65^\circ \end{aligned}$$



$$\begin{aligned} 180^\circ - 106^\circ &= 74^\circ \\ 74^\circ \div 2 &= 37^\circ \\ 180^\circ - 37^\circ &= 143^\circ \end{aligned}$$



$$\begin{aligned} x &= 180^\circ - 40^\circ = 140^\circ \\ &\quad (20^\circ + 20^\circ) \\ 180^\circ - 40^\circ &= 140^\circ \\ y &= 140^\circ \div 2 = 70^\circ \end{aligned}$$

- 4 $\angle x, \angle y$ の大きさを求めなさい。

(3点×4=12点)

(1)	$x =$	65°
(2)	$x =$	143°
(3)	$x =$	140°
	$y =$	70°

- 5 次のことがらの逆を言いなさい。また、それが正しい場合は○、正しくない場合には反例を示しなさい。

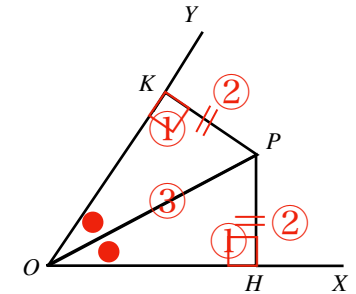
- (1) a, b が偶数ならば、 $a+b$ も偶数である。
 (2) $\triangle ABC$ において、 $\angle B = \angle C$ ならば $AB = AC$ である。
 (3) $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ で、 $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ ならば、 $\angle A = \angle D$, $AB = DE, AC = DF$ である。

(3点×3=9点)

○ or 反例

(1)	$a+b$ が偶数ならば、 a, b も偶数である。	$a=1, b=3$
(2)	$\triangle ABC$ において、 $AB=AC$ ならば $\angle B=\angle C$ である。	○
(3)	$\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ で、 $\angle A=\angle D, AB=DE, AC=DF$ ならば、 $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ である。	○

- 6 $\angle XOY$ の内部の点Pから、2辺OX, OYに、それぞれひいた垂線PH, PKの長さが等しいとき、OPは、 $\angle XOY$ を2等分することを証明しなさい。



(8点)

$\triangle POH$ と $\triangle POK$ で、
仮定より、

$$\angle PHO = \angle PKO = 90^\circ \dots \textcircled{1}$$

$$PH = PK \dots \textcircled{2}$$

共通な辺より、 $PO = PO \dots \textcircled{3}$

斜辺と他の1辺がそれぞれ等しいので、

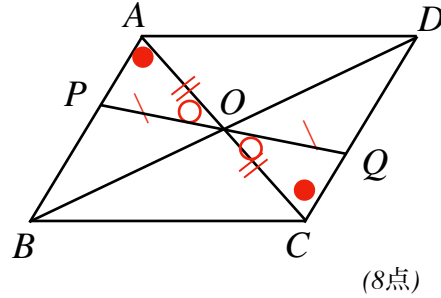
$$\triangle POH \cong \triangle POK$$

合同な図形では対応する角は等しいので、

$$\angle POH = \angle POK$$

したがって、OPは、 $\angle XOY$ を2等分する

7 平行四辺形 $ABCD$ で対角線の交点 O を通る直線をひき、2辺 AB, CD との交点を、それぞれ P, Q とする。このとき、 $OP=OQ$ となることを証明しなさい。



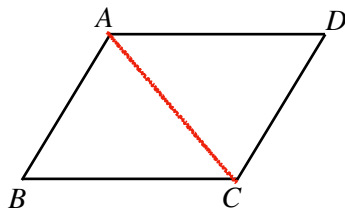
(8点)

$\triangle APO$ と $\triangle CQO$ で、
 平行四辺形の対角線は中点で交わるので、
 $AO=CO \dots \textcircled{1}$
 平行線の錯角は等しいので、
 $\angle PAO=\angle QCO \dots \textcircled{2}$ ●
 対頂角より、
 $\angle AOP=\angle COQ \dots \textcircled{3}$ ○

①, ②, ③から、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので、
 $\triangle APO \cong \triangle CQO$
 合同な図形では対応する辺は等しいので、
 $OP=OQ$

8 次のような四角形 $ABCD$ は、平行四辺形であるといえるか。

- (1) $AB=7\text{cm}, BC=10\text{cm}, CD=10\text{cm}, DA=7\text{cm}$
- (2) $\angle A=150^\circ, \angle B=30^\circ, AD=BC=5\text{cm}$
- (3) $\triangle ABC \cong \triangle CDA$



8 (3点×3=9点)

(1)	いえない
(2)	いえる
(3)	いえる

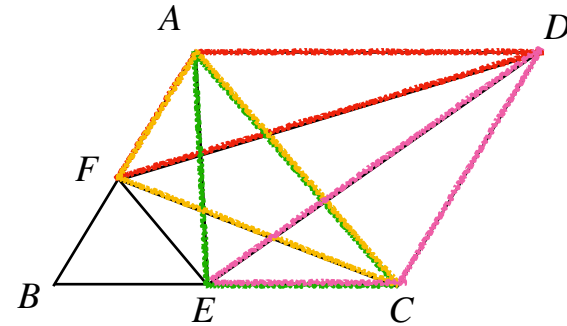
9 次の平行四辺形 $ABCD$ は、どんな四角形か答えなさい。

- (1) $AB=BC, \angle ABC=90^\circ$
- (2) $AC=BD$
- (3) $AB=BC$

9 (3点×3=9点)

(1)	正方形
(2)	長方形
(3)	ひし形

10 四角形 $ABCD$ は平行四辺形である。 $EF \parallel AC$ のとき、 $\triangle AFD$ と面積の等しい三角形をすべて見つけなさい。



(3点×3=9点)

$\triangle AFC$	$\triangle AEC$	$\triangle DEC$
-----------------	-----------------	-----------------